



2024年度

放課後等デイサービス
なないろの羽

自己評価表

(2025年1月実施)

2024年度 自己評価表 なないろの羽 鶴島ルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10人利用時の1人あたりの床面積は12.4㎡。1人あたりの床面積は、基準値の5倍以上の広さを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に人員を加配しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○	○		事業所入口に段差がありますが、室内はフラットで、厚手のマットを敷き詰めています。身障者用トイレの設置はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○	今後、対応を検討します。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部問わず確保しております。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			
	5	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
適切な支援の提供（続き）	6	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			
	7	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの安定感のためのスケジュールの固定化や、スキル獲得のための反復はむしろ大切にしています。内容に変化を持たせることで、飽きない活動を心掛けています。
	9	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	12	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	14	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	-	-	-	受入なし
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	受入なし
	4	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的には保護者様を介して学校とやり取りをさせていただいていますが、臨機応変に対応しております。
	5	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			
6	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○				
7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
8	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			地域のお祭りへの参加時に自然なかたちでの交流を行っています。	
9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○		今後取り組みを強化していきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			
	4	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○		微力ながらも活動支援、協力を行わせていただいております。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事ごとの情報提供に加え、ルーム通信を年4回発行しています。
	8	個人情報に十分注意しているか	○			
	9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	10	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			商店街行事へ積極的に参加し、交流があります。保護者様への更なる周知徹底が必要と感じております。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様に確認して対応させていただいています。
	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
	6	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			原則、身体的拘束は行いません。必要性が事前に確認された場合には適切な対応を検討します。

2024年度 自己評価表 なないろの羽 明倫ルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10人利用時の1人あたりの床面積は9.8㎡。1人あたりの床面積は、基準値の4倍の広さを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に人員を加配しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○	○		室内はフラットで、厚手のマットを敷き詰めています。身障者用トイレの設置はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○	今後、対応を検討します。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部問わず確保しております。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			
	5	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
適切な支援の提供（続き）	6	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			
	7	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの安定感のためのスケジュールの固定化や、スキル獲得のための反復はむしろ大切にしています。内容に変化を持たせることで、飽きない活動を心掛けています。
	9	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	12	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	14	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	-	-	-	受入なし
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	受入なし
	4	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的には保護者様を介して学校とやり取りをさせていただいていますが、臨機応変に対応しております。
	5	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			
6	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○				
7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
8	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			地域のお祭りへの参加時に自然なかたちでの交流を行っています。	
9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		○	今後取り組みを強化していきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			
	4	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		○	微力ながらも活動支援、協力を行わせていただいております。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事ごとの情報提供に加え、ルーム通信を年4回発行しています。
	8	個人情報に十分注意しているか	○			
	9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	10	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			商店街行事へ積極的に参加し、交流があります。保護者様への更なる周知徹底が必要と感じております。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		○	
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様に確認して対応させていただいています。
	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
	6	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			原則、身体的拘束は行いません。必要性が事前に確認された場合には適切な対応を検討します。

2024年度 自己評価表 なないろの羽 東大洲ルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10人利用時の1人あたりの床面積は8.8㎡。1人あたりの床面積は、基準値の3.5倍以上の広さを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に人員を加配しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか		○		室内はフラットで、厚手のマットを敷き詰めています。身障者用トイレの設置はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、対応を検討します。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部問わず確保しております。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			
	5	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
適切な支援の提供（続き）	6	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			
	7	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの安定感のためのスケジュールの固定化や、スキル獲得のための反復はむしろ大切にしています。内容に変化を持たせることで、飽きない活動を心掛けています。
	9	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	12	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	14	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	-	-	-	受入なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	受入なし
	4	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的には保護者様を介して学校とやり取りをさせていただいていますが、臨機応変に対応しております。
	5	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			
6	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○				
7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
8	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		今後取り組みを強化していきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			
	4	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		微力ながらも活動支援、協力を行わせていただいております。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事ごとの情報提供に加え、ルーム通信を年4回発行しています。
	8	個人情報に十分注意しているか	○			
	9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	10	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		地域住民の方に参加していただけるイベントの開催を予定しています。保護者様への更なる周知徹底が必要と感じております。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様に確認して対応させていただいています。
	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
	6	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			原則、身体的拘束は行いません。必要性が事前に確認された場合には適切な対応を検討します。	

2024年度 自己評価表 なないろの羽 伊予・松前ルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10人利用時の1人あたりの床面積は12.3㎡。1人あたりの床面積は、基準値の3.5倍以上の広さを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に人員を加配しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○	○		入口に段差はなく室内はフラットで、厚手のマットを敷き詰めています。身障者用トイレの設置はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○	今後、対応を検討します。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部問わず確保しております。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			
	5	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
適切な支援の提供（続き）	6	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			
	7	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの安定感のためのスケジュールの固定化や、スキル獲得のための反復はむしろ大切にしています。内容に変化を持たせることで、飽きない活動を心掛けています。
	9	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	12	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	14	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	-	-	-	受入なし
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	受入なし
	4	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的には保護者様を介して学校とやり取りをさせていただいていますが、臨機応変に対応しております。
	5	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			
6	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○				
7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
8	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○		今後取り組みを強化していきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			
	4	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○		微力ながらも活動支援、協力を行わせていただいております。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事ごとの情報提供に加え、ルーム通信を年4回発行しています。
	8	個人情報に十分注意しているか	○			
	9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	10	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		○	今後、対応を検討します。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		保護者様への更なる周知徹底が必要と感じております。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様に確認して対応させていただいています。
	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
	6	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			原則、身体的拘束は行いません。必要性が事前に確認された場合には適切な対応を検討します。

2024年度 自己評価表 なないろの羽 たかの子ルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10人利用時の1人あたりの床面積は12.6㎡。1人あたりの床面積は、基準値の5倍以上の広さを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に人員を加配しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○	○		入口に段差はなく室内はフラットで、厚手のマットを敷き詰めています。身障者用トイレの設置はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○	今後、対応を検討します。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部問わず確保しております。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			
	5	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
適切な支援の提供（続き）	6	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			
	7	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの安定感のためのスケジュールの固定化や、スキル獲得のための反復はむしろ大切にしています。内容に変化を持たせることで、飽きない活動を心掛けています。
	9	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	12	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	14	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	-	-	-	受入なし
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	受入なし
	4	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的には保護者様を介して学校とやり取りをさせていただいていますが、臨機応変に対応しております。
	5	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			
6	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○				
7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
8	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○		今後取り組みを強化していきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			
	4	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○		微力ながらも活動支援、協力を行わせていただいております。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事ごとの情報提供に加え、ルーム通信を年4回発行しています。
	8	個人情報に十分注意しているか	○			
	9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	10	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		○	今後、対応を検討します。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		保護者様への更なる周知徹底が必要と感じております。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様に確認して対応させていただいています。
	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
	6	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			原則、身体的拘束は行いません。必要性が事前に確認された場合には適切な対応を検討します。	

2024年度 自己評価表 なないろの羽 衣山ルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10人利用時の1人あたりの床面積は12.7㎡。1人あたりの床面積は、基準値の5倍以上の広さを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に人員を加配しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○	○		入口に階段があり、車いすへの対応は不可です。手すりの設置はあります。室内はフラットで、厚手のマットを敷き詰めています。身障者用トイレの設置はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○	今後、対応を検討します。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部問わず確保しております。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			
	5	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
適切な支援の提供（続き）	6	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			
	7	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの安定感のためのスケジュールの固定化や、スキル獲得のための反復はむしろ大切にしています。内容に変化を持たせることで、飽きない活動を心掛けています。
	9	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	12	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	14	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	-	-	-	受入なし
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	受入なし
	4	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的には保護者様を介して学校とやり取りをさせていただいていますが、臨機応変に対応しております。
	5	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			
6	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○				
7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
8	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○		今後取り組みを強化していきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			
	4	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○		微力ながらも活動支援、協力を行わせていただいております。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事ごとの情報提供に加え、ルーム通信を年4回発行しています。
	8	個人情報に十分注意しているか	○			
	9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	10	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		○	今後、対応を検討します。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		保護者様への更なる周知徹底が必要と感じております。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様に確認して対応させていただいています。
	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
	6	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			原則、身体的拘束は行いません。必要性が事前に確認された場合には適切な対応を検討します。	

2024年度 自己評価表 なないろの羽 空港通リルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10人利用時の1人あたりの床面積は8.6㎡。1人あたりの床面積は、基準値の3倍以上の広さを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に人員を加配しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○	○		入口に階段があり、車いすへの対応は不可です。手すりの設置はあります。室内はフラットで、厚手のマットを敷き詰めています。身障者用トイレの設置はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○	今後、対応を検討します。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部問わず確保しております。
適切な 支援の 提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			
	5	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
適切な 支援の 提供 (続き)	6	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			
	7	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの安定感のためのスケジュールの固定化や、スキル獲得のための反復はむしろ大切にしています。内容に変化を持たせることで、飽きない活動を心掛けています。
	9	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	12	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	14	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	-	-	-	受入なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	受入なし
	4	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的には保護者様を介して学校とやり取りをさせていただいていますが、臨機応変に対応しております。
	5	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			
6	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○				
7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
8	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○		今後取り組みを強化していきたいと思っています。	
保護者への 説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			
	4	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○		微力ながらも活動支援、協力を行わせていただいております。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事ごとの情報提供に加え、ルーム通信を年4回発行しています。
	8	個人情報に十分注意しているか	○			
	9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	10	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		○	今後、対応を検討します。
非常時 等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		保護者様への更なる周知徹底が必要と感じております。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様に確認して対応させていただいています。
	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
	6	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			原則、身体的拘束は行いません。必要性が事前に確認された場合には適切な対応を検討します。	

2024年度 自己評価表 なないろの羽 空港プラズルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10人利用時の1人あたりの床面積は12.7㎡。1人あたりの床面積は、基準値の5倍以上の広さを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に人員を加配しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○	○		室内はフラットで、厚手のマットを敷き詰めています。身障者用トイレの設置はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○	今後、対応を検討します。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部問わず確保しております。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			
	5	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
適切な支援の提供（続き）	6	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			
	7	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの安定感のためのスケジュールの固定化や、スキル獲得のための反復はむしろ大切にしています。内容に変化を持たせることで、飽きない活動を心掛けています。
	9	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	12	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	14	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	-	-	-	受入なし
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	受入なし
	4	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的には保護者様を介して学校とやり取りをさせていただいていますが、臨機応変に対応しております。
	5	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			
6	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○				
7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
8	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○		今後取り組みを強化していきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			
	4	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○		微力ながらも活動支援、協力を行わせていただいております。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事ごとの情報提供に加え、ルーム通信を年4回発行しています。
	8	個人情報に十分注意しているか	○			
	9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	10	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		○	今後、対応を検討します。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		保護者様への更なる周知徹底が必要と感じております。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様に確認して対応させていただいています。
	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
	6	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			原則、身体的拘束は行いません。必要性が事前に確認された場合には適切な対応を検討します。	

2024年度 自己評価表 なないろの羽 道後石手ルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			10人利用時の1人あたりの床面積は8.6㎡。1人あたりの床面積は、基準値の3倍以上の広さを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に人員を加配しています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備が適切になされているか	○	○		入口に段差はなく室内はフラットで、厚手のマットを敷き詰めています。身障者用トイレの設置はありません。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	○			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○			
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		○	今後、対応を検討します。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部問わず確保しております。
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○			
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	○			
	5	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			
適切な支援の提供（続き）	6	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	○			
	7	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもたちの安定感のためのスケジュールの固定化や、スキル獲得のための反復はむしろ大切にしています。内容に変化を持たせることで、飽きない活動を心掛けています。
	9	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	11	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	12	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	13	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	14	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	-	-	-	受入なし
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-	-	受入なし
	4	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			基本的には保護者様を介して学校とやり取りをさせていただいていますが、臨機応変に対応しております。
	5	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有が行われているか	○			
6	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	○				
7	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
8	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				
9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
10	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○		今後取り組みを強化していきたいと思っています。	
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	2	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○			
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	○			
	4	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○		微力ながらも活動支援、協力を行わせていただいております。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			行事ごとの情報提供に加え、ルーム通信を年4回発行しています。
	8	個人情報に十分注意しているか	○			
	9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	10	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		○	今後、対応を検討します。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		保護者様への更なる周知徹底が必要と感じております。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			
	4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様に確認して対応させていただいています。
	5	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	○			
	6	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○			
	7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	8	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	9	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			原則、身体的拘束は行いません。必要性が事前に確認された場合には適切な対応を検討します。

2024年度 自己評価表 なないろの羽 鶴島ルーム（保育所等訪問支援）

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			訪問先施設の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標				
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	はい		どちらともいえない	いいえ	わからない	訪問先施設の方のご意見
環境・体制整備	1	適切な教具教材の使用	○												
	2	職員の適切な配置	○												
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○												
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○											今後実施を検討する
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○												
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での保育所等訪問支援計画の作成	○												
	2	保育所等訪問支援計画における子どもの支援に関わる職員の認識の統一	○												
	3	保育所等訪問支援計画における、訪問先施設や担任等の意向の取入の実施	○												
	4	保育所等訪問支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○												
	5	保育所等訪問支援計画に沿った適切な支援の実施	○												
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○												
	7	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○												
	8	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○												
	9	訪問先の理念、支援手法の尊重	○								○				
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○												
	11	定期的なモニタリングの実施及び保育所等訪問支援計画の見直し	○												
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○												
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	-												
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	-												
	4	保育所等訪問支援からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○												
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○												
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○												
	7	障がいのない子どもと活動する機会の提供	○												
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		○											放課後等デイサービスを主体として実施

2024年度 自己評価表 なないろの羽 空港プラスルーム（保育所等訪問支援）

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			訪問先施設の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標				
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	はい		どちらともいえない	いいえ	わからない	訪問先施設の方のご意見
環境体制	1	適切な教具教材の使用	○			2									
	2	職員の適切な配置	○			2									
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○												
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○											今後実施を検討する
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○												
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での保育所等訪問支援計画の作成	○			2									
	2	保育所等訪問支援計画における子どもの支援に関わる職員の認識の統一	○												
	3	保育所等訪問支援計画における、訪問先施設や担任等の意向の取入の実施	○												
	4	保育所等訪問支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			2									
	5	保育所等訪問支援計画に沿った適切な支援の実施	○			2									
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○												
	7	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○												
	8	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○												
	9	訪問先の理念、支援手法の尊重	○							2					
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○												
	11	定期的なモニタリングの実施及び保育所等訪問支援計画の見直し	○												
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○												
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	-												
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	-												
	4	保育所等訪問支援からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間で支援内容等の十分な情報共有	○												
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○												
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○												
	7	障がいのない子どもと活動する機会の提供	○			2									
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		○											放課後等デイサービスを主体として実施していく

2024年度 自己評価表 なないろの羽 明倫ルーム（保育所等訪問支援）

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				訪問先施設の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	訪問先施設の方のご意見
環境体制	1	適切な教員教材の使用	○														
	2	職員の適切な配置	○														
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○														
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○													今後実施を検討する
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○														
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での保育所等訪問支援計画の作成	-														
	2	保育所等訪問支援計画における子どもの支援に関わる職員の認識の統一	○														
	3	保育所等訪問支援計画における、訪問先施設や担任等の意向の取入の実施	-														
	4	保育所等訪問支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	-														
	5	保育所等訪問支援計画に沿った適切な支援の実施	-														
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	-														
	7	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	-														
	8	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	-														
	9	訪問先の理念、支援手法の尊重	-														
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	-														
	11	定期的なモニタリングの実施及び保育所等訪問支援計画の見直し	-														
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	-														
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	-														
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	-														
	4	保育所等訪問支援からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	-														
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	-														
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	-														
	7	障がいのない子どもと活動する機会の提供	-														
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	-														

2024年度 自己評価表 なないろの羽 衣山ルーム（保育所等訪問支援）

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価			訪問先施設の方の評価			評価を踏まえた改善内容・改善目標					
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	はい		どちらともいえない	いいえ	わからない	訪問先施設の方のご意見	
環境体制	1	適切な教具教材の使用	○													
	2	職員の適切な配置	○													
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○													
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○												今後実施を検討する
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○													
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での保育所等訪問支援計画の作成	-													
	2	保育所等訪問支援計画における子どもの支援に関わる職員の認識の統一	○													
	3	保育所等訪問支援計画における、訪問先施設や担任等の意向の取入の実施	-													
	4	保育所等訪問支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	-													
	5	保育所等訪問支援計画に沿った適切な支援の実施	-													
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	-													
	7	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	-													
	8	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	-													
	9	訪問先の理念、支援手法の尊重	-													
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	-													
	11	定期的なモニタリングの実施及び保育所等訪問支援計画の見直し	-													
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	-													
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	-													
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	-													
	4	保育所等訪問支援からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	-													
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	-													
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	-													
	7	障がいのない子どもと活動する機会の提供	-													
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	-													

2024年度 自己評価表 なないろの羽 空港通りルーム（保育所等訪問支援）

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				訪問先施設の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	はい	どちらともいえない	いいえ		わからない	訪問先施設の方のご意見
環境体制	1	適切な教具教材の使用	○														
	2	職員の適切な配置	○														
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○														
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○													今後実施を検討する
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○														
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での保育所等訪問支援計画の作成	-														
	2	保育所等訪問支援計画における子どもの支援に関わる職員の認識の統一	○														
	3	保育所等訪問支援計画における、訪問先施設や担任等の意向の取入の実施	-														
	4	保育所等訪問支援計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	-														
	5	保育所等訪問支援計画に沿った適切な支援の実施	-														
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	-														
	7	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	-														
	8	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	-														
	9	訪問先の理念、支援手法の尊重	-														
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	-														
	11	定期的なモニタリングの実施及び保育所等訪問支援計画の見直し	-														
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	-														
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	-														
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	-														
	4	保育所等訪問支援からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	-														
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	-														
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	-														
	7	障がいのない子どもと活動する機会の提供	-														
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	-														放課後等デイサービスを主体として実施

